

第73期 警視庁職員信用組合通常総代会

令和6年6月21日(金)午後3時31分から、警視庁本部庁舎17階大会議室において、各所属の総代235名(うち委任状出席5名)のご出席をいただき、第73期警視庁職員信用組合通常総代会(以下「総代会」という。)を開催いたしました。



副総監挨拶



森元副総監から総代の方々に、平素の警信に対する支援・協力への謝意が表された後、「令和5年度の決算に関する承認、それから令和6年度の事業計画等、重要事項が審議されることとなります。皆様は所属の組合員の代表として十分にご審議いただきたいと思ひますし、またご審議を通じまして、警信の業務に一層の理解を深めていただければと思ひています。最近の金融等をめぐる状況ですが、先の日銀金融政策決定会合で、政策金利は据え置かれることとなりました。しかし、いまだ追加利上げの観測も消えるところではありません。おそらく、変動型金利の住宅ローンがどうなるのだろうかといった関心をお持ちの組合員の方も多いのではないかと思ひております。こうした情勢を踏まえ、警信の役職員の方々におかれましては、引き続き変化する金融環境に的確に対応して、健全な経営基盤を維持していただきたいと思ひております。結びになりますが、警信の益々の発展と、それに併せて、組合員の福利が一層向上することを祈念いたします。」とご挨拶がありました。

お持ちの組合員の方も多いのではないかと思ひております。こうした情勢を踏まえ、警信の役職員の方々におかれましては、引き続き変化する金融環境に的確に対応して、健全な経営基盤を維持していただきたいと思ひております。結びになりますが、警信の益々の発展と、それに併せて、組合員の福利が一層向上することを祈念いたします。」とご挨拶がありました。

理事長挨拶

後藤理事長から総代の方々に対し、平素の警信業務へのご理解とご支援への謝辞を申し述べた後、「令和5年度の決算概要につきましては、皆様のお力添えによりまして、昨年度も当期純利益は、事業計画値を上回ることができました。重ねて御礼申し上げます。近時の金融情勢は、国内外ともに顕著な変動を見せており、金融機関は、その対応を的確に行うことが求められております。警信は、今後も情勢を敏感に捉えながら、組合員本位の対応を、適時適切に選択していく所存であります。総代の皆様には、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶をいたしました。



議案審議

下記の5議案が審議され全て可決承認されました。

第1号議案 令和5年度計算書類等(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及びその附属明細書)の承認に関する件

次頁の損益概要及び剰余金処分案について詳細な説明を行いました。

そして、渡邊監事から「警信は厳しい金融情勢の中、徹底したリスク管理とコンプライアンス重視の経営により、適切な業務運営がなされており、「経営の健全性」は十分確保されていると認められました。また、公認会計士・田中宏征事務所による会計監査におきましても、現行の会計基準に照らし、公正・妥当であると認められております。」旨の報告があった後、本議案を審議しました。

■ 損益概要

(単位:百万円)

収 益		費 用	
貸出金利息	4,079	預金利息	544
有価証券等運用収入	854	経費	1,298
		人件費	614
		物件費	1,118
その他	406	その他	3,576
合 計	5,340	合 計	1,764
		税引前純利益	231
		税 金	1,532
		当期純利益	

■ 剰余金処分案

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
当期末処分剰余金	7,566	当期末処分剰余金	7,566
前期繰越金	6,034	剰余金処分額	1,179
当期純利益	1,532	利益準備金	83
		出資配当金	146
		利用分量配当金	949
		次期繰越金	6,387

※金額については、切捨て処理を行っているため、内訳の数字をそのまま加算しても合計と一致しません。

配当について

令和5年度は増収減益の決算となりました。金融環境は依然として厳しい状況でございますが、令和5年度の当期純利益の予算は達成していることもあり、出資配当並びに利用分量配当とも前年度と同水準といたします。

出資配当については3%、利用分量配当については、預金利息が100円につき10円、融資利息が100円につき22円の割合で行います。これにより出資配当金及び利用分量配当金の合計額は、10億9,500万円となります。

■ 配当内容

(単位:百万円)

区 分	令和5年度		令和4年度	
	配 当 率	金 額	配当率	金 額
出資配当金	3%	146	3%	143
利用分量配当金	預 金	預金利息100円につき10円	10円	56
	融 資	融資利息100円につき22円	22円	887
合 計	—	1,095	—	1,087

※ 出資配当: 組合員となるために拠出いただいた出資金に対する収益金の分配

利用分量配当: 預金及び融資をご利用いただいた度合いに応じて行う収益金の還元

※ 金額については、切捨て処理を行っているため、内訳の数字をそのまま加算しても合計と一致しません。



第2号議案 令和6年度事業方針、事業計画及び収支予算(案)の承認のに関する件

下記の事業方針等について詳細な説明を行った後、本議案を審議しました。

■ 事業方針

- ①健全経営の維持・強化 ②信頼関係の構築 ③収益・業容の拡充 ④人的資本の充実 ⑤その他

■ 事業計画

- ①計数目標(融資 純増27億円・預金 純増10億円・当期純利益12億円以上・自己資本比率13%以上)
 ②経営基盤である預金・融資のバランスの取れた伸長…令和6年度末の預金残高は5,269億円(年間増加額10億円)、融資残高は3,636億円(年間増加額27億円)とする。
 ③組合員への利益を還元するために必要な収益の確保…当期純利益額12億円以上とする。

■ 収支予算案

令和6年度は第7次中期経営計画の初年度でもあり、同計画に掲げている当期純利益目標である12億円を上回る金額を確保する。

第3号議案 令和5年度の組合加入、出資持分の譲渡、組合脱退者への出資持分の払戻し及び組合からの除名に関する件

下記内容及び脱退者に出資持分を払い出すこと等について説明を行った後、本議案を審議しました。

■ 組合加入

区 分	人 数	金 額
新 規	1,163名	40,480,000円

■ 出資持分の譲渡・譲受

区 分	人 数	金 額
譲 渡 (譲 受)	1,026名 (458名)	54,425,000円

■ 組合脱退者への出資持分の払戻し

区 分	人 数	金 額
自由脱退	98名	6,295,000円
法定脱退	326名	13,135,000円
合 計	424名	19,430,000円

■ 組合からの除名

区 分	人 数	金 額
除 名	1名	30,000円

出資金譲受について

出資金譲受のお申込みは、現在4,109名の方にお待ちいただき、申込み順に処理をしております。実態としましては、7年前に申し込みをいただいた方に、今順番が回ってきている状況にあります。

組合員の出資金は、一人30万円まで保有していただけますが、うち15万円につきましては、他の方からの譲り受けに限らせていただいております。譲り受けを希望する側の人数・金額が、譲渡する側の人数・金額よりもはるかに多いために、年々お待ちいただく期間が増えております。

組合員の皆様からは、こうした出資金の譲渡に関するアンバランスの問題を解消するため、いくつかのご意見を頂戴しております。出資枠自体を増大してはどうかというご提案もありますが、現時点では、警信は十分な自己資本を保有しており、出資枠の増大による資本の増強は必要ないものと考えております。

いずれにいたしましても、出資金制度全体のあり方について、見直しを行う必要があると思われまことから、今後皆様方のご意見を承りながら、更に検討を進めてまいります。

第4号議案 警視庁職員信用組合総代選挙規程の一部改正に関する件

警視庁組織規則の一部改正により、令和6年4月1日、対策本部の組織改編が実施されたほか、警視庁継続組合員選挙区の名称等を見直したことに伴い、警視庁職員信用組合総代選挙規程の別表「警視庁職員信用組合総代選挙区及び定数」の一部を改正する旨の説明を行った後、本議案を審議しました。

第5号議案 理事・監事の改選及び選任に関する件

理事及び監事の任期満了に伴う改選及び新たな理事・監事の選任について、本議案を審議しました。

常勤理事	後藤 友二	非常勤理事	森元 良幸	小倉 隆久	岩浅 太一	服部 準	非常勤監事	渡邊 源治
	袋野 正樹		幡野 徹	前田 敦	小林 仁	高野 裕之		羽田 保義
	大谷 誠		小林 雅哉	財部 智	長田 明博	坂本 守		林 博文
	加藤 崇		山口 博	湯浅 誠	坂本 守	藤田 雅史		宮井 健治
	吉越 賢治		尾崎 亮太	二宮 健	藤田 雅史			
剣持 一弘								

※太字が新たに選任された理事・監事です。

報告事項

第1 令和5年度事業報告及び決算概要について

預金の状況については、総預金の残高5,259億1,900万円と前年度対比32億4,600万円の減少となりました。普通預金などの要求払預金等は1,412億3,300万円と前年度対比17億6,900万円増加したものの、定期性預金については3,846億8,600万円と前年度対比では50億1,600万円減少しました。総預金の年間増減がマイナスに転じたのは、政府が掲げる「貯蓄から投資へ」の流れにより、定期性預金の払出しが増加したことが主な要因として上げられます。

融資の状況については、融資資金の残高3,609億3,900万円と前年度対比で29億700万円増加しました。種類別では、融資資金の大部分を占める住宅資金は、ネット銀行やメガバンク等と競合する中、3,487億2,600万円と22億1,100万円の増加となりました。また、自動車資金や教育資金等も前年度対比で着実に増加しております。なお、預貸率については、分母である預金が前年度対比減少に転じたことから、68.6%と1.0ポイント上昇しております。

第2 預金金利の引き上げについて

日銀のマイナス金利政策解除を受け、警信の預金金利の見直しを行い、下記に記載のとおり、それぞれ金利の引き上げを行いました。預金金利につきましては、毎週見直しておりますが、普通預金・定期預金については、約7年ぶりの変更となります。今後も情勢を確認しながら検討してまいります。

金利変更

- 普通預金 4月1日(月)から 0.010% → 0.020%
- 定期預金(3年) 4月8日(月)から 0.050% → 0.150%

融資の金利について

融資の金利については、すべて変動金利であり、年2回、4月と10月に見直すことと規定されております。現段階での変更は考えておりませんが、市場や金融機関の動向に注視しながら、経営の許す範囲で調整し検討してまいります。

第3 警視庁創立150年記念定期預金の募集内容変更について

警視庁創立150年記念に際し、職域の金融機関として貢献を図ることを目的として特別金利の定期預金、「警視庁創立150年記念定期預金」を、本年1月4日から、家族名義を含まない個人の組合員限定で募集を開始しております。金利については創立150年に掛けて「0.150%」としておりますが、内容につきまして、この度、組合員からの要望に応え、預け入れ金額の上限をなくすとともに、募集期間も当初7月5日まででありましたが12月30日まで延長、さらに「ノベルティ」についても変更前に受領された方も、新たに1セット受け取れることとするなど、この度、下記に記載の下線の部分について変更いたしました。

募集要領

- 名 称／警視庁創立150年記念定期預金
- 募集期間／令和6年6月3日～令和6年12月30日
- 募集総額／150億円
- 対 象／組合員個人限定(法人・家族名義を除く)
- 期間・種類／1年自動継続
- 預入金額／10万円以上(上限なし)
- 金 利／年0.150%(当初1年)
※スーパー定期、スーパー定期1000の1年もの金利に「0.100%」を上乗せ(自動継続後の金利は、継続日における店頭表示金利)
- ノベルティ／マウスパッド、メモ帳(一組合員1セット)

質疑応答 (質疑応答において事前に伺っていた質問・要望への回答をしました)

警信では、NISA等の金融商品を取り扱う予定があるのか

NISAで取り扱う商品は投資元本の保証がなく、運用実績が悪い場合に元本割れ等のリスクがあるため、現状では取り扱いを見合わせています。

なお、警信では、給料天引きで着実に資産を増やせ、金利も他の金融機関よりも高めにしてある、財形預金での資産形成をお勧めしております。

多くの金融機関が導入しているアプリを活用したインターネットバンキングを警信でも導入するなど、利便性を図ってほしい

インターネットバンキングにつきましては、警信のホームページから有料ではありますが、普通預金の残高や入出金明細の照会、すでに取り扱っております。スマートフォン等を利用したアプリについては、全国信用組合連合会の子会社である信組情報サービス株式会社、通称SKCにおいて、すでに開発されたアプリがありますが、当該アプリを警信に導入したとしても、個人間の振込や他銀行等への送金機能は備えていない上、導入するに当たっては、全組合員の個人情報を提供しなければなりません。さらに、その安全性は現段階で十分に担保されているとは言い切れない状況にあります。

警信としましては、組合員が警察関係者であることや、皇室の事務を担当するという特殊性に鑑み、安全性の確保が第一と考え見合わせている状況にあります。なお、先程申し上げましたSKCにおいて、預金残高や入出金明細、個人間の振込や他銀行等への送金機能も備えた新たなアプリを開発検討中と伺っており、開発された暁には、導入に向けて安全性の確認に加え、関係機関等との協議を進めて参ります。

謝辞

閉会にあたり後藤理事から「本総代会での提出議案すべてにご承認を賜り、改めて御礼申し上げます。警信は今後も、組合員皆様からの期待と信頼に応える「組合員本位の業務運営」に徹して参りますとともに、経営基盤の強化に努めて参ります。総代の皆様方には、引き続きのご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。」との挨拶をいたしました。